



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Nov. 1982

I-2

Love for Enemies

Do to others as you would have them do to you.

あなたたちが人にしてもらいたいと思うことを、人にもしてやりなさい。

(ルカスによる福音書 6章31節)

11月例会プログラム

とき 11月17日(水) 6:30~8:30
 ところ YMCA国際・社会奉仕センター

司会 岡本公一君

1. 開 会 山中会長
2. ウイズソング 一 同
3. ゲスト紹介 山中会長
4. 10月役員会報告 "
5. 食前感謝 — 晩さん —
6. C S の話 土佐堀クラブ 今村一之君
7. 3分間スピーチ — メン・メネット — 当日指名
8. 誕生日のお祝い (6月に遡って祝福します)
9. インフォメーション・YMCAニュース
10. 閉 会 山中会長

○今月の例会当番はB班です。よろしく……。

10月例会 出席者〔在籍会員 36名〕

| | 第1例会 | 第2例会 | Make up | 集 計 |
|-------|---------|------|---------|--------|
| メ ン | 19 名 | 13名 | 2名 | 21名 |
| 出席率 | 52.78 % | | | 58.33% |
| メネット | 4 名 | | | |
| ヴィジター | 7 名 | | | |
| 新 人 | | | | |
| 合 計 | 30名 | 13名 | | 43名 |

○ヴィジター

木下百太郎君(長野) 柳原一男君(堺)
 江指たすく君、工藤義正君、津田淑雄君、牧口望君
 矢村秀夫君(土佐堀)

○メネット

鈴木、谷川、皆本、山中各メネット

THEME (1982~ '83)

- I.P. OPPORTUNITIES
 THROUGH PARTNERSHIP
 R.D. GOOD WORK
 WITH GOOD HEARTS
 D.G. 全員参加でワイズにパワーを!
 メネットも共に
 P. ONWARD CENTENNIAL

新メンバー紹介

- 瀬 戸 孝太郎 1943. 8. 5
 慶 子 12. 15
 Seto Kootaroo・Keiko 結婚記念日 3.16
 〒639 芦屋市山手町4-17 0797-22-3078
 ㈱ 毎日広告社 06-345-5825
- 平 田 雅 利 1943. 6. 25
 由喜子 6. 20
 Hirata Masatoshi・Yukiko 結婚記念日 4.27
 〒564 吹田市古江台1-10-1 06-872-4791
 ㈱ 平田タイル 06-532-1231

(ご紹介が遅れましたがお二人共チャーターナイトから参加されております)

◇誕生日おめでとう

- 山村 幸明 君 1934年11月 6日
 山中ちあき メネット 11月 8日
 桂 知良 君 1934年11月11日
 横山 和子 メネット 11月13日
 山中 秀男 君 1933年11月28日
 中野 豊 君 1951年11月29日

◇結婚記念日おめでとう

- 黒田 徹之・俊子夫妻 11月 8日
 谷川 寛・有美子夫妻 11月 8日
 安福又四郎・節子夫妻 11月15日
 長安 敏夫・美和子夫妻 11月17日
 鈴木 謙介・美藤夫妻 11月23日
 藤本 史郎・まち子夫妻 11月25日

10月のニコニコ 11,880円でした。

楽しい行事のお知らせ

— ご家族そろって参加しましょう —

• 第32回 中西部会

とき 11月23日(祝) 10時~16時
 ところ 観心寺(河内長野市寺元475)
 講演 永島龍空師(観心寺副住職)
 その他 コメットにはサイクルスポーツセンターでの
 楽しいプログラムがあります。
 会費 メン 4,000円、メネ 3,000円、コメ 1,500円
 申込締切 11月15日(月)
 (河野正義書記までお申出下さい)

• センテナリアル クリスマスファミリーパーティー

とき 12月4日(土) 17時~20時
 ところ 大阪クリスチャンセンター
 (環状線 玉造駅徒歩10分)
 プログラム キャンドルサービス
 ゲーム大会、プレゼント交換など。
 会費 メン 4,000円、メネ 3,000円、コメ 1,000円
 その他 プレゼントは各自準備の上ご持参下さい。
 手造りの物、アイデアに富んだ物を歓迎しま
 す。(500円程度)

• 中西部新年合同例会(第一報)

とき 1983年1月8日(土) 17時30分~20時
 ところ 太閤園(京阪 京橋駅徒歩6分)
 会費 メン 6,000円、メネ 5,000円、コメ 無料
 プログラム 詳細は後日お知らせします。

〈鋭視野・ASIA〉

総理府が今年6月実施した「インドシナ難民に関する世論調査」の結果がまとまった。それによると、74%の人が「何らかの援助をすべきだ」と答えている。しかし、その援助の内容は救済物資(70%)寄付金などの金銭援助(32%)で—という回答が圧倒的に多く、日本社会への定住を積極的に推進すべきだという声は少なかった。難民の受け入れ枠についても、3人のうち1人は「日本は土地が狭く、人口が多いからこれ以上ふやすべきではない」と答えた。

つまり、お金は出すが、自分で面倒をみるのはいやというのが日本人の最大公約数的考えとみていいだろう。この9月末現在、日本には2,343人のインドシナ難民がいる。各地の収容施設はどこも満パイ。政府は千人収容の新施設を作ろうとしているが、候補地がうわさに上ると住民の反対運動が起こって計画は遅々として進んでいない。日本人の国際感覚がどこまで開かれたかを試す「第二の黒船」が難民問題だ。

(日本経済新聞「春秋」より 10.5付)

My Private Life

メンバーの私生活をのぞいて見ようとアンケートに答え
 てもらいました。今月から順次公開する予定です。

- Q1. 「マイ・ファミリー」今何人?
 イ. お子様 ロ. お孫さん
 ハ. その他家族 ニ. ペット
- Q2. 「マイ・ホビー」今打ちこんでいるものは何?
 Q3. 「マイ・タレント」お得意は何?
 Q4. 「マイ・コレクション」ご自慢の逸品・珍品は?
 Q5. 「マイ・ワイズダム」あなたにとってワイズは?
 Q6. 「メネットからの証言」メンの後姿を公開しよう。

森田 誠君登場

- A1. 「マイ・ファミリー」
 イ. 現在なし(希望 男2人、女1人)
 ロ. 28才の若さで孫があったら?
 ハ. 母、森田好子
 ニ. ジョニー。(ボメラニアン、男)
 2.5才(人間なら28才 私と同年)
- A2. 「マイ・ホビー」
 1. テニス(ふとっちょのわりに動きはシャープ)
 2. ギター(カラオケ大会の伴奏にご指名下さい)
- A3. 「マイ・タレント」
 今流行のパソ・コンを勉強中
- A4. 「マイコレクション」
 特にありません。
- A5. 「マイ・ワイズダム」
 例会は1ヶ月が長く感じられる待ち遠しい日。
 生れた時よりワイキチを目の当りにしてきたので、
 私自身は若さを武器にユニークなY狂人生を歩みたい
 と願う昨今です。
- A6. 「メネットからの証言」
 結婚すれば男性はこうも変わるのかと思うほど亭主
 関白なダンナ様です。でも体に似合わず、カワイイ
 ところのある、頼りがいのあるダンナ様やねん……。

YMCAニュース

• 毎年12月に国際・社会奉仕活動のためのクリスマス献金
 を行っておりますが、本年は大阪YMCA創立100年を記念
 して、国際協力基金を設置し、そのための募金(1口1
 万円でも何口でも結構です)をすることになりました。とく
 にワイズメンの方々の積極的なご協力をお願いいたします。
 • パレスチナ問題への関心がたかまっている昨今、当国際
 社会奉仕センターでパレスチナの画家ウラジミール・クマ
 ル氏の絵画展(11月4日~8日)開催を機に同氏による
 パレスチナ問題についての講演会を11月8日夜に行ない
 ます。どうぞ来聴下さい。

Africa

Africa

「アフリカを支える男達」

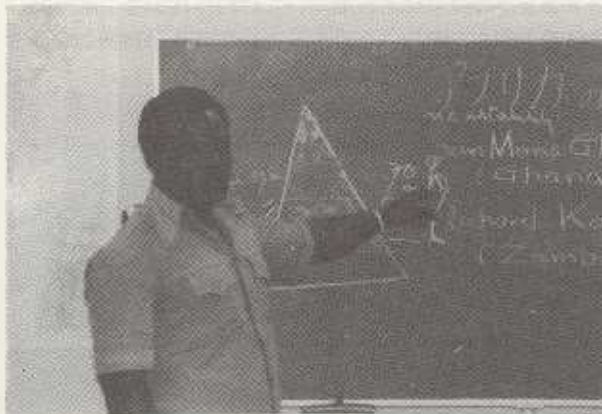
— ガーナとザンビアの二人のYMCA主事 —

谷川 寛

10月の国際社会奉仕センターの講演会「現在のアフリカを語る」(ガーナ、ザンビアの若者たち)に出席した。講師は大阪センテナルチャーターの時、話をしてくれたザンビア、キトウエYMCA総主事R・カイラ氏とガーナのボルタ地区YMCA主事のS・グローバ氏の二人である。

二人とも青少年育成国民会議による招待で来日。10月6日まで全国のYMCAで研修を受けていた。金曜日の晩集った大阪の青年達に、彼ら二人は研修の疲れも忘れて、自分達の国のこと、YMCAのことを熱心に話してくれた。

1) ガーナ — S・グローバ主事のガーナは、西アフリカの赤道に位置し、1957年の独立以前は、「黄金海岸」と呼ばれていた。今も悩めるこの黒人の新興国にあって、YMCAに与えられた責任は大きい。YMCAの仕事は非常に多岐にわたっているとグローバ主事は語る。



アフリカ・ガーナの社会構造を説明するS・グローバ主事

彼のYMCAのプログラムは、例えば手工芸を中心とした職業訓練学校、若者の地方への定住の斡旋、職業訓練生が地方で自分の店をもつための援助、主婦を中心とした裁縫教室、アフリカの伝統文化、歴史を教育するプログラムそして、失われつつあるアフリカの伝統的踊り、ドラム(

大鼓)のレッスン、さらには産児制限のための家族計画プログラム、その他幅広い活動をしている。

先進国でなら、国家や地方政府が行っていることをYMCAが肩代りしてやっている。国家の将来が自分達の肩にかかっているという誇りが、グローバ主事の姿に見られる。それだけ責任も重い。彼らの最大の悩みは何か、と質問したら、一言「資金不足だ」と答えた。YMCAの熟練したスタッフも不足しており、活動のかなりをボランティアに頼らざるをえない。Yの仕事の60%は、ボランティアに依存している、と彼はいう。

グローバ主事から提案があった。彼のYの職業訓練学校で生徒達が作った木彫(マホガニー)の置物を、日本のYMCA、ワイズメンを通して資金集めに使ってもらえないか、というものだ。ガーナYMCAは、すでに西独のYMCAとこのようなプログラムを以前から持っている。彼らの作品のカタログを送って来たら、日本のワイズでも資金集めに協力できないだろうか。船会社に頼み、フレイトをサービスしてもらうことなどを話した。検討してみたいと思う。

2) ザンビア — R・カイラ主事のザンビアは、中央アフリカの北ローデシアに位置し、1964年に独立した黒人の国家である。ガーナと異り気候は比較的恵まれ、サバンナが多い。タンガニーカ湖、ビクトリアの滝は有名である。



アフリカ・ザンビアの観光資源ビクトリアの滝を説明するR・カイラ主事

G H A N A

Republic of Ghana

Popl: 13 million

Capital: Accra

Industries:

cocoa, coffee, corn, peanuts, gold, diamonds

Africa



Z A M B I A

Republic of Zambia

Popl: 6 million

Capital: Lusaka

Industries:

Copper, cobalt, lead, zinc, corn, tobacco

Africa

Africa

天然資源に恵まれてはいるが、一次産品の国際価格暴落から、経済的には非常に苦しい。

YMC Aの活動は多くの点で、ガーナに似ている。いずれも国の将来を担う若者にかかわる問題を扱っているから重要だ。カイラ主事のYMC Aの悩みも、グローバ主事のガーナと、多くの点で共通している。

ザンビアのYMC Aがやらなければならぬ仕事は山ほどある、と彼は強い調子で話してくれた。だが、それを担う優秀な訓練されたYの主事、スタッフは絶対的に不足している。

日本の4倍の国土に、7つのYMC Aがあるが、カイラ主事を含め、わずか5人の主事しかいない。しかも、7つのYMC Aに車がたった2台しかない。日本のように交通手段として電車があるわけでないから、車に頼るしかない。カイラ主事はいう。「この2台の車が何処か遠くのYMC Aに行っていたら、自分は他のYMC Aのランチに用事ができても、この車が帰ってくるまで2、3日待たなければならない」地方のYMC Aのあるところは、道路事情が悪いから、ランドローバー（英国製のジープ）が一番良い。しかし、ザンビアでは、この車一台\$28,000（邦価換算750万円）もする。

ガーナとザンビアの二つのYMC Aとも、貧しい国家財政から、政府の援助は多くを期待できない。そのため、外国やボランティアの援助に望みを託すしかない。地元のボランティアの活動の一部として、2人の主事とも、ワイズメンズクラブの組織化に強い関心を示していた。

グローバ主事のガーナでは、首都のアクラを中心に、首都全体をカバーするワイズメンズクラブがすでに組織されており、YMC Aとワイズの連携・パートナーシップを考えている、とグローバ主事はいう。一方、ザンビアではワイズ活動はこれからだが、組織化の動きがある、とカイラ主事。彼が今回の旅行にザンビアを発つ前、ワイズメンズクラブの発足のためのオリエンテーションを兼ね、ミーティングをもった。200名のビジネスマンが、首都ルサカに集ったそうだ。

彼は「帰ったらワイズメンズクラブの組織化に努力したい。もしワイズが成功したら、これは将来YMC Aをサポートしてくれ活動の中心になってくれるに違いない」と目を輝かしていた。

彼の発言を裏付ける記事が、最近のリーダーズ・イン・アクション誌（ワイズの国際機関誌）に載っていた。その記事によると、Leadership Development Programを担当している世界YMC A同盟のバップ・ホール氏が最近アフリカを訪問し、ザンビアのルサカにワイズメンズクラブをつくる可能性を地元で検討した。これは将来ルサカにYMC Aをつくるための第一歩であると報告している。

S・グローバ、R・カイラの二人の主事とも未だ30代。二人とも地元の大学に学び、英国の大学に留学した若きアフリカのエリートである。英語のポキヤブラリーも豊富であり、われわれ日本人の英語より遥かに上だ。もちろん、英語が彼らの国のただ一つの共通語である以上、当然だ、

といってしまうまでもだが。

若い新興国の将来を自分達が担っているのだ、という自負心が、彼らの話を聴き、一緒に討論していて感じられる。しかし、彼らの態度に驕りや強がりには決していない。非常に暗々として、気持が良い。態度が立派だ。自分達が、国の将来を担う若者を造るため奉仕しているという使命感がそうさせているのかもしれない。

彼らの奉仕するYMC Aに、ワイズメンズクラブの動きが出てきたことは素晴らしい。日本のワイズで、何かやることはないだろうか。以前、スウェーデンを訪れた際、Yのキャンプ場で多数のケニアのYのスタッフが、研修を受けていたのを思い出す。案内してくれたスウェーデンのワイズメンが、彼らアフリカの若者の旅費を一部サポートしている、と言っていた。

発展途上のアフリカの国々は、あまりにも多くの問題を抱えている。しかし、そのような国にあって、真剣に国の将来を考え、その将来を担う若者のため献身的な努力をしている二人の男達に会った時、彼らのような男達が将来のアフリカを支えているのだ、と感じた。

アフリカの将来は、日本にいてわれわれが勝手に想像しているよりも、明るいものかもしれない。



写真 左からS・グローバ主事、谷川、R・カイラ主事及びYの高松美枝子さん

（以上の写真撮影は大阪Y事務局の大川真由美さん）

なお、今回の大阪Y国際社会奉仕センター企画「現在のアフリカを語る」の司会は、真島克成所長が務められ、約30名の出席があった。

Onward Centennial にドライブを！

会長 山中 秀 男

昨年12月1日(火)に設立準備のための初めての集まりを持って以来もう一年になろうとしています。その間本年6月16日(水)の設立総会、9月25日(土)のチャーターナイトと順調に進み、これでわがセンテニアルも形の上で枠組みが出来上がったわけですが、これからはいよいよ内部固めと着実なワイズ活動の充実を図ってゆかねばなりません。

これまで例会はどちらかといえば総会やチャーターナイトといったイベントの企画や準備に終始し勝ちでありました。もっともこれらの活動を通して、メンバー相互の人的なふれ合いや、また兄弟クラブとの交流も深まり、ワイズダムの目的に沿った基礎固めは一応出来たと考えられます。さらに折にふれてゲストの先生や諸先輩ワイズから、わがクラブへの示唆や提言を頂戴し、センテニアルが目的に特に掲げた「国際的社会奉仕」について「アジアに目を向ける」という、より具体的な方向づけが確認されたことも有意義なことでもあります。

ワイズダムの種々の事業について私達はすでにひと通りの学習をしたはずですが、いざ自分達の手で始めるとなると十分な理解が出来ていたとは申せません。10月例会でのBF、IBC、YEEPを皮切にして毎月復習しながら、いよいよ実際活動に入ることにします。各パートの担当役員も早急に決定し、Onward Centennial に一層のドライブをかけようではありませんか。

クラブ事業担当役員の決定

10月27日(水)の第2例会において、当面の事業活動を推進するため、次の通り各担当役員を決定しました。

この役員が中心となりメンバー全員がいずれかの委員会に参画していただくこととなります。

| | |
|---------------------------|---------|
| YMCA Service | 中川 徹太郎君 |
| IBC・YEEP | 松添 壮君 |
| BF | 皆本 勝久君 |
| | 川越 利信君 |
| EMC | 松崎 滋雄君 |
| MET (Music・Entertainment) | 正司 泰子姉 |
| | 西村 隆夫君 |
| Driver | 鈴木 謙介君 |
| | 黒田 敏之君 |
| 幹事 | 谷川 寛君 |

なお、BFポイントの本年度の目標は一人平均 4,000ポイントとすることに決まりました。次の例会には必ず切手をお忘れなく。

今月の聖句について

黒田 敏之

この聖句は昔より黄金律 (Golden Rule) と呼ばれている聖書の中での珠玉とも云える言葉である。米国の大企業家ベニーは、この聖句を文字通り彼の仕事の中で実践して事業を成功させ、「黄金律のベニー」と呼ばれた。

谷川君、ヨーロッパワイズ訪問の旅へ

谷川寛君は、日本区IBC・YEEP事業主任としても活躍されていますが、このたびBF代表として、スウェーデン・デンマークの各ワイズを約17日間訪問されることになりました。英国領事館の仕事での英国出張も兼ねており10月28日(木)に出発し、スウェーデンのあとロンドンに行き、滞在中に英国ただ一つのワイズを訪問され、11月末帰国の予定です。クリスマス例会ではきっとヨーロッパのワイズ事情など楽しいお土産話が聞けることでしょう。

My Private Life (2)

西村 隆夫君 登場

A 1. 「マイ・ファミリー」

結婚記念日がいつくるのやら、まったくの未定。したがって実家(?)で両親と3人暮らしです。

A 2. 「マイ・ボビー」

スキー：スピード狂でコセコセと小回わりはせず、山を一つ一つ越えて行く感じのワイドスキー。ヨーロッパ、カナダの有名スキー場をぶっとばして来ました。スキューバー・ダイビング：サメさんに少しおなかまわりをかじってほしいと思いはじめました。ゴルフ：飛距離には自信あるも、スコアに自信なし。倉本がボバイなら、私はブルート(白杭が嫌い)

A 3. 「マイ・タレント」

真面目な顔で冗談を言う、ポーカークフェイスならぬファニーフェイス。日本語でも英語でも駄洒落なら負けません。

A 4. 「マイ・コレクション」

特になし。中華料理のメニューでもコレクトしてみたいと思っています。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

全く未知の世界です。地域社会での奉仕活動はボーイスカウトで現在もやっておりますが、国際的視野に立った奉仕活動が出来る集まりだと思っています。

A 6. 「メネットからの証言」

答えるべき人がおりません。嗚呼！

○ My Private Life のアンケートにユーモアあふれる回答をお待ちしております。

【編集あとがき】

○ チャーターナイトのフィバーがおさまって見ると、外はもう晩秋の気配。あとにはクリスマスが……。

○ わたくし達の乏しいアジア理解を深める一助になればと今号より「鋭視野・ASIA」欄を設けました。ご注目下さい。